

## 令和7年度林業イノベーションハブ構築事業

### 第2回専門委員会 議事概要

日時 令和8（2026）年2月24日（火）13:30～16:20

場所 日林協会館 3階 大会議室（Web会議併用）

#### (1) 森ハブ・プラットフォームのイベントについて

##### (10月イベント)

- 参加者が北日本・東日本に偏っており、より広域からの参加を促す工夫が必要である。西日本開催等も検討してほしい。
- ワークショップには斬新な取組事例のある参加者が集まっていたので、もっと各社の特徴を深掘りできる内容にしてほしかった。
- ワークショップの時間が足りなかったため、もっと時間をかけてコミュニケーションを深められる形式で実施してほしい。この場を継続して輪を広げることが重要である。
- ワークショップ後のフォローアップとして、事務局が企業へ課題解決に向けたシーズ提案を募集し参加者とのWeb打合せにつながっている点は非常に良い取組である。
- 企業名の扱いは慎重であるべきだが、どのような課題にどのような提案があったかについては、可能な範囲で広く共有する仕組みを検討してほしい。
- マッチング後の成果について、今後の事業応募等において評価・加点などの形で後押しする制度的連動があれば、参加意欲向上につながる可能性がある。
- マッチングで終わらせるのではなく、実装までつなぐ出口戦略が重要である。課題を共有し、それを政策や金融的支援につなげる視点が必要である。

##### (2月シンポジウム)

- 森ハブの目指す姿からすると、林業事業体の参加割合が10%と低い点に課題を感じた。
- 参加者が行政職員中心となる傾向にある。今後は、民間事業体により参加してもらえるような魅力あるシンポジウムの内容を検討する必要があるのではないか。
- 業界紙といった伝統メディアとの共催や何かしらの連携をすることで、イベント情報の拡散力があると思われる。